

SEIKO

セイコーウォッチ株式会社

本 社 東京都港区芝浦一丁目2番1号 〒105-0023



BRIGHTZ
セイコーブライツ

4S27

MECHANICAL WATCH

取扱説明書
INSTRUCTION

SEIKO

このたびはセイコーブライトをお買い上げいただきましてありがとうございます。
セイコーブライトは、セイコーの世界に誇る先進技術を駆使して「見易さ」や「着けやすさ」という「時計としての本質的な心地よさ」を追究した時計です。
この説明書をよくお読みいただきまして、お買い上げのセイコーブライトの機能・仕様を正しくご理解のうえ、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

この取扱説明書はお手もとに保存いただき、必要に応じてご覧ください。

警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

セイコー製品について、修理その他のご相談は、「お買い上げ店」
でうけたまわっております。
なお、ご不明の点は下記へお問い合わせください。

セイコーウオッチ株式会社

全国共通フリーダイヤル

0120-612-911（下記の最寄地に着信いたします）

お客様相談室

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-1-10

〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24（大阪四ツ橋新町ビルディング 8階）

お客様相談係

〒060-0061 札幌市中央区南一条西 7-20-1

（札幌スカイビル 4階 セイコーサービスセンター内）

〒810-0801 福岡市博多区中洲 5-1-22

（松月堂ビル 6階 セイコーサービスセンター内）

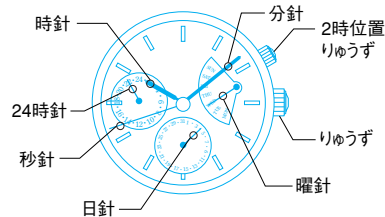
目次

| | |
|-----------------|----|
| ■メカニカルウォッチの特徴 | 2 |
| ■各部の名称とはたらき | 3 |
| ■ご使用方法 | 4 |
| ■外装について | 11 |
| ■耐磁性能について | 13 |
| ■防水性能について | 14 |
| ■使用上の注意とお手入れの方法 | 16 |
| ■こんな時には | 20 |
| ■ルミブライトについて | 22 |
| ■製品仕様 | 23 |
| ■アフターサービスについて | 24 |
| ■補修用性能部品について | 25 |
| ■中留め操作方法 | 26 |

■メカニカルウォッチの特徴（手巻、自動巻）

- ・この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- ・止まった状態からご使用になるときは、りゅうずを20回位手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- ・精度はクォーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差（一日あたりの進み・遅れ）となります。
- ・さらに、ご使用になる条件（携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等）によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。
- ・外部から強い磁気の影響を受けますと、一時的に精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

■各部の名称とはたらき



自動巻（手巻付）
レトログランド式曜針機能を搭載

時刻合わせ・24時針・曜針・日付の合わせ方はP6～P10をご覧ください。

■ご使用方法

〔自動巻き式機械時計の取扱いかた〕

この時計は、自動巻き式機械時計（手巻き付き）です。

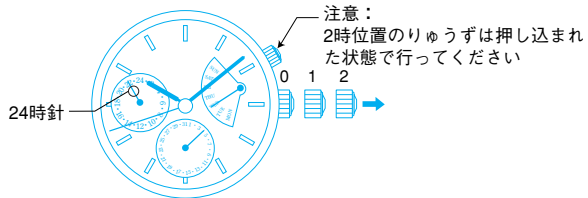
- ・ゼンマイは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。
また、りゅうずをまわしてゼンマイを巻くこともできます。
- ・止まっている時計をお使いになるときは、りゅうずをまわすか、時計を振って時計を始動させてください。秒針が動きだしたら時刻を合わせて腕におつけください。



〔ゼンマイの巻き方〕

- ①ゼンマイを巻く際にはりゅうずを右方向（12時方向）にゆっくりまわしてください。なお、りゅうずは左方向（6時方向）では空回りするようになっています。
- ②ゼンマイは、りゅうずを約40回転すれば十分に巻き上げることができます。また、巻き上げが完了するとりゅうずは空回りします。また、巻き上げが完了してもりゅうずを回すことができますが、ゼンマイが切れる心配はありません。
- ③ゼンマイが十分に巻き上げられた状態での持続時間は約50時間以上です。（ゼンマイの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、1日8時間以上携帯することをおすすめします。）なお、時計を腕に着けないでご使用される場合は、毎日、一定の時刻にゼンマイを十分に巻いてご使用ください。

〔時刻の合わせかた〕



- ① 秒針が12時の位置でりゅうずを2段目まで引き出します。
- ② りゅうずを回して時刻を合わせてください。
この時24時針も連動します。
24時針と時針がズれている場合は「時差修正の使い方」(P10)をご参照のうえ修正して下さい。

⚠ 注意

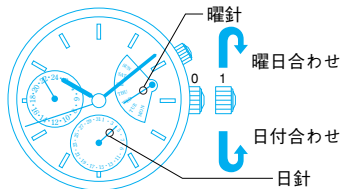
曜針が月曜日の位置にあるときに午前1時付近で分針を戻し方向に動かすと、時針が空回りすることがありますので、この時間帯は避けてください。

- ・この現象は分針を進行方向のみで針合わせをしていただければ起こりません。
- ・24時針とズれてしまった場合は「時差修正の使い方」(P10)をご参照のうえ修正して下さい。

- ③ 時報と同時にりゅうずを押し込みます。

※時刻合わせは電話の時報サービスTel.117が便利です。

〔曜日・日付の合わせ方〕



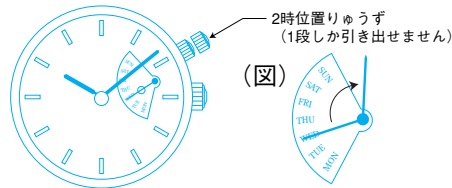
- ① りゅうずを1段目まで引き出します。この状態で、りゅうずを
 - ・右方向（12時方向）
2クリックで1日分曜針が動きます。確認をしながら合わせてください。
（ぜんまいの巻き上げと連動していますので、操作感は重くなります）
 - ・左方向（6時方向）
1クリックで1日分日針が動きます。
- ② りゅうずを元通り押し込んで完了です。

⚠ 注意

修正ができない時間帯
時計の針が午後9時～午前2時（日針・曜針が動きません）
月末に日付の修正が必要な場合があります
1ヶ月が31日に満たない月の翌月は日付修正をお願いいたします。

〔時差修正の使い方〕

時差修正機能とは、時計の分針・秒針を止めずに簡単な操作で時針だけを1時間単位で修正できる便利な機能です。海外旅行での時差修正等が簡単にできます。



- ① 2時位置のりゅうずを引き出します。
この時、曜針が(図)のように表示の外に移動しますが異常ではありません。
- ② りゅうずを回すと時針のみ正転・逆転単独で動かすことができます。曜針と日針は連動して動きます。クリック感を確認しながら、確実に動かしてください。この時曜針がふらつくことがあります。異常ではありません。
- ③ りゅうずを元通りに押し込んで完了です。

■外装ケースについて

●ケース素材について

セイコーブライツに使用されているケース素材は、主に以下の3種類です。一部のモデルでは部分的にこれらの素材を使い分けているものもあります。

【ステンレス・スチール】

- ・サビにくく、美しい光沢やスジ目などの仕上げが可能で、幅広く使用されているケース素材です。
- ・主成分は鉄ですが、クロームも含んでいることにより表面に極めて薄い被膜がサビの発生を防ぎます。
- ・この被膜が維持できないと、ステンレス・スチールでもサビが発生します。良い状態で維持するためには、常に酸素が必要です。表面の汚れ等で酸欠にならないように日頃のお手入れをお勧めします。

【純チタン】

- ・とても軽い素材です。ステンレス・スチールの約半分の重さです。

- ・サビない、また金属アレルギーも起こさない素材といわれています。
- ・ステンレス・スチールに比べ、若干柔らかいのでキズ等にはお気をつけください。

【ブライトチタン】

- ・純チタンとほぼ同じ特長（軽さ、サビに強い）を持つ、チタン合金です。
- ・硬さは純チタンの1.5倍で、ステンレス・スチールよりも硬く、傷がつきにくい素材です。
- ・純チタンの色調に比べて白く、純チタンでは難しい美しい鏡面仕上げが可能です。

●無反射コーティングについて

- ・お買い上げになられたセイコーブライツは、ガラス面での光の反射を抑え、透過率を高める効果のある特殊なコーティングがガラスに施されています。これにより、文字板や針がより見やすくなっています。

■耐磁性能について






- ・お買い上げになられたセイコーブライツは、耐磁時計です。
- ・JIS1種耐磁時計の基準を満たしており、直流磁界の強さで4,800A/m（60ガウス）の磁界中でも誤作動を起こさない性能を持っています。

※日常生活においては、磁気を発生する機器に5cmまで近づけても、ほとんどの場合性能が維持できる性能です。それ以上近づけた場合は影響がでる可能性がありますので、ご注意ください。ヒゲゼンマイなどが影響を受けて、一時的に止まったり、精度を狂わせる原因になります。直ぐに磁気製品から離せば、元通りの精度に戻りますが、そのまま放置されますと、時計内部の部品が磁化されてしまい、磁気製品から遠ざけても、精度が狂ったままとなります。磁化された場合は、修理で部品の脱磁を行ない、精度を再調整する必要があります。

■防水性能について

・お買い上げになられたセイコーブライツは、日常生活用強化防水（10気圧）です。

⚠ 注意

| 時計の 防水表示 | 使用例 |  |  |  |  |  |
|-----------------------|-------------------|---|---|--|---|---|
| | 防水の 基準 | 雨や洗顔など日常生活で予想される「水がかかる」程度 | 水に関係の深い仕事（農水産・園芸・食堂など）やスポーツ（水泳やヨット）で使用できる程度 | 空気ポンベを使用しない潜水（スキューバダイビング）や入浴に使用できる程度 | 空気ポンベを使用する潜水（スキューバ潜水）に使用できる | ヘリウムガスを使用する潜水方式（飽和潜水）に使用できる |
| WATER RESISTANT 10BAR | 日常生活用強化防水（10気圧防水） | ○ | ○ | ○ | × | × |

※水分のついたままりゅうずを回したり、引き出したりしないでください。
時計内部に水分が入ることがあります。

●入浴について

10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のごとに注意して下さい。

- ・時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、りゅうず操作やボタン操作を行わないでください。
(防水機能が維持できなくなることがあります)
- ・温水で時計が温まると、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にもどれば精度はもとにもどります。

⚠ 警告

- ・日常生活用強化防水（10気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

■使用上の注意とお手入れの方法

⚠ 注意

●日常のお手入れ

- ・ ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
- ・ 時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取るだけで汚れやケース、バンド、及びパッキンの寿命が違ってきます。

〈革バンド〉

- ・ 革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするよ
うにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉

- ・ 金属バンドはときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。

⚠ 注意

●かぶれやアレルギーについて

- ・ バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- ・ かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- ・ かぶれの原因として考えられますのは、
 1. 金属・皮革に対するアレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗等です。
- ・ 万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し医師にご相談ください。

 注意

● その他、携帯上ご注意いただきたいこと

- ・バンド着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
- ・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますのでご注意ください。

● 保管について

- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
(薬品の例：ベンジン、シンナー、などの有機溶剤、およびそれら含有するもの
ーガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、
トイレ用洗剤、接着剤などー水銀、ヨウ素系消毒液など)
- ・温泉や防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

● 定期点検について

長くご愛用いただくために、2～3年に1度程度の点検をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。

保油状態・汗や水分の侵入などをチェックするため、点検の受付はお買い上げ店に点検をご依頼ください。点検の結果によっては、分解掃除を必要とする場合があります。

※点検時にパッキンやバネ棒の交換をご依頼ください。

※部品交換のときは「セイコー純正部品」とご指定ください。

■こんな時には

| 現象 | 考えられる原因 |
|---------------|---|
| ・時計が止まった | ・ゼンマイが巻かれていない |
| ・時計が進む／遅れる | ・暑いところまたは寒いところに長くおいた |
| | ・磁気を発生するもののそばにおいた |
| | ・落としたり強くぶついたりまたは激しいスポーツをしたとき、強い振動が加えられたとき |
| ・ガラスのくもりが消えない | ・水分がついたままりゅうずを回した、引き出した |

| |
|---|
| このようにしてください |
| ・手で巻けば動き出します。それでも、動かない場合はお買い上げ店に点検調整をご依頼ください。 |
| ・精度は、常温にもどれば元にもどります。 |
| ・精度は、磁気の発生するものから離せば元にもどります。 |
| ・元にもどらない場合は、お買い上げ店に点検調整をご依頼ください。 |
| ・精度は、元にもどりません。お買い上げ店に点検調整をご依頼ください。 |
| ・お買い上げ店に点検調整をご依頼ください。 |

■ ルミブライトについて

[お買い上げの時計がルミブライトつきの場合]

ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。

ルミブライトは太陽光や照明器具の明りを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約5～8時間）光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収割合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

〈照度データ〉（目安値）

- A 太陽光 〔晴天〕 100,000ルクス
 〔曇天〕 10,000ルクス
- B 屋内（昼間窓際） 〔晴天〕 3,000ルクス以上
 〔曇天〕 1,000～3,000ルクス
 〔雨天〕 1,000ルクス以下
- C 照明（白色蛍光灯40Wの下で）〔1 m〕 1,000ルクス
 〔3 m〕 500ルクス（通常室内レベル）
 〔4 m〕 250ルクス

■ 製品仕様

| | |
|--------|----------------------|
| | 4S27 |
| 1.機能 | 6針（時・分・秒・24時針・日針・曜針） |
| 2.振動数 | 28,800振動／1時間 |
| 3.精度 | 日差+25秒～-15秒 |
| 4.駆動方式 | ゼンマイ巻〔自動巻（手巻付き）〕 |
| 5.使用石数 | 28石 |
| 6.その他 | ※DIASHOCK（ダイヤショック）付 |

注）メカニカルウォッチは精密でデリケートなものです。精度は時計の姿勢（向き）によって進み／遅れ具合が変わります。したがって、お客様のご使用になる条件（携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量など）により上記精度の範囲を超える場合があります。
上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

※DIASHOCK(ダイヤショック)とは：

メカニカルウォッチの駆動体の中で、特に衝撃や震動に弱いテンプレをさまざまなショックから守る装置です。

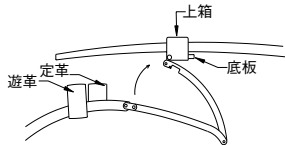
■アフターサービスについて

- 万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- 修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点は「セイコーウォッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」にお問い合わせください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

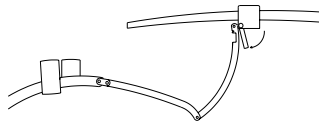
■補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。)
- 修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

■中留め操作方法 (お買い上げの時計が、革バンドで三ツ折れ式中留の場合)

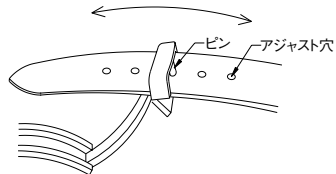


1. バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。

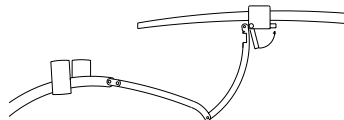


2. 上箱の底板を下に開きます。

※中留を装着するときは、バンドの剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めて下さい。



3. ピンをバンドのアジャスト穴から外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところでピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



4. 底板を閉めます。
(底板を押し込みすぎないようにしてください。)

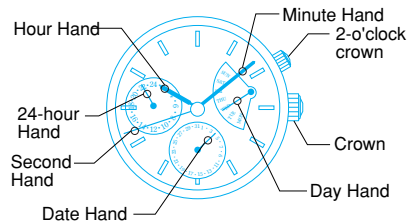
CONTENTS

| | |
|--|----|
| ■ Characteristics of mechanical watches (Windup type / Self-winding type) | 30 |
| ■ NAME OF PARTS & THEIR FUNCTIONS | 31 |
| ■ HOW TO USE | 32 |
| ■ WATCH CASE | 39 |
| ■ RESISTANCE TO MAGNETISM | 40 |
| ■ WATER RESISTANCE | 41 |
| ■ TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH | 43 |
| ■ TROUBLESHOOTING | 48 |
| ■ LUMIBRITE | 50 |
| ■ SPECIFICATIONS | 51 |
| ■ REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING | 52 |
| ■ REMARKS ON REPLACEMENT PARTS | 53 |
| ■ HOW TO ADJUST THE SIZE OF THE STRAP (FOR STRAP MODELS WITH BUCKLE) | 54 |

■ Characteristics of mechanical watches (Windup type / Self-winding type)

- This watch is a mechanical watch that runs by a mainspring.
- Before using the watch, turn the crown by hand about 20 times to wind up the mainspring of the watch.
- While the loss / gain of a quartz watch is shown by the monthly or yearly rate, the loss / gain of a mechanical watch is shown by the daily rate (loss/gain per one day). The loss / gain of a mechanical watch changes delicately day by day, depending on various environment or conditions in which the watch is used (such as temperatures, the amount of time the watch has been worn, the amount of arm movement, and the amount that the mainspring is wound up).
- A mechanical watch may lose / gain time temporarily when it is affected by strong magnetism. If the parts of the watch become magnetized, the watch needs repair including demagnetizing. In this case, consult the retailer from whom the watch was purchased.

■ NAME OF PARTS & THEIR FUNCTIONS



**Self-winding type
(with manual winding mechanism)
With a retrograde-type day hand**

Refer to P.32~P.36 to set the time, and to adjust the 24-hour hand, the day hand, and the date hand.

■ HOW TO USE

[How to use automatic mechanical watch]

This is an automatic mechanical watch with manual winding mechanism.

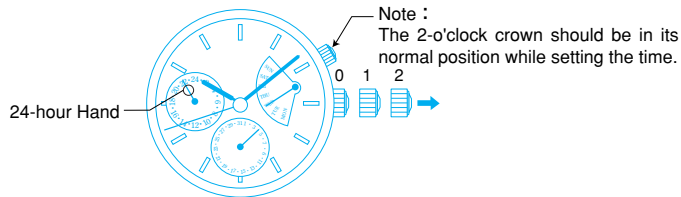
- If the watch is worn on the wrist, the mainspring will be wound automatically through normal wrist movement.
It can also be wound up by turning the crown.
- To start the watch after it stops completely, wind it up either by turning the crown or swinging it from side to side until the second hand starts moving. Then, set the time and date before wearing the watch on the wrist.



[How to wind up the mainspring of the watch]

- ① To wind up the watch by turning the crown, turn it clockwise slowly. The watch cannot be wound by turning the crown counterclockwise.
- ② About 40 turns of the crown will wind up the watch fully. Please note that the crown can be turned even after the watch is wound up fully.
When the mainspring is fully wound up, the crown turns free not to cut the mainspring when it is wound up too much.
- ③ Once the watch is wound up fully, it operates about 50 hours. (If the watch is used without being wound up fully, gain or loss of the watch may result. To avoid this, wear the watch for more than 10 hours a day.) If the watch is used without wearing on the wrist ; if it is used on the desk, for example : be sure to wind it up fully every day at a fixed time.

[How to set the time]



- ① Pull out the crown to the second click when the second hand is at the 12 o'clock position.
- ② Turn the crown to set the hour and minute hands to the time. As the hour and minute hands move, the 24-hour hand moves accordingly. If the 24-hour hand does not move accordingly, refer to P.36 "Time zone adjustment" to adjust the 24-hour hand

⚠ CAUTION

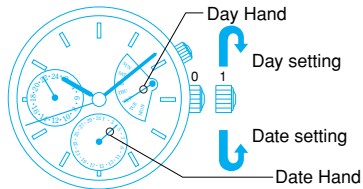
Do not turn the minute hand counterclockwise at and around 1:00 AM while the date hand is showing Monday. Otherwise, the hour hand may turn free.

- If the minute hand is turned clockwise to set the time in the above period, the hour hand does not turn free.
- If the 24-hour hand does not move accordingly as the hour and minute hands move, refer to P.36 "Time zone adjustment" to adjust the 24-hour hand.

- ③ Push the crown back in to its normal position in accordance with a time signal.

※ The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time.

[How to set the date and day of the week]



① Pull out the crown to the first click.

- Turn the crown clockwise to set the day of the week.

The crown clicks twice, and the day hand advances one day. Make sure that the day hand advances one day on the display while turning the crown. (Turning the crown clockwise winds up the mainspring at the same time, thus you feel that it is hard to turn the crown.)

- Turn the crown counterclockwise to set the date.

The crown clicks once, and the date hand advances one day.

② Push the crown back in to its normal position.

⚠ CAUTION

Time period that is not good for time setting :

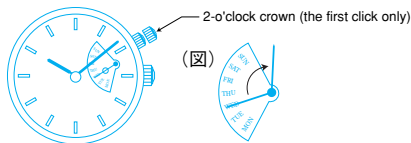
Do not change the date when the hour and minute hands show the time between 9:00 PM and 2:00 AM, as the watch is so designed that the date and day hands do not move during that time period.

When date adjustment is required at the end of the month :

It is necessary to adjust the date at the end of the month following a month that has less than 31 days.

[Time zone adjustment]

Time zone adjustment function enables to adjust the hour hand only in one-hour increments by easy operation without stopping the minute and second hands. It is convenient when adjusting the time based on a different time zone while you travel abroad.



① Pull out the 2-o'clock crown

Day of the week Hand moves out of the days of the week display as indicated above, however, it is not a malfunction.

② Turn the 2-o'clock crown clockwise or counterclockwise to adjust the hour hand. As the hour hand moves, the date and day hands move accordingly. Make sure that you feel the crown click while turning it. The hour hand may move unsteady, however, it is not a malfunction.

③ Push the 2-o'clock crown back in to its normal position.

■ WATCH CASE

● CASE MATERIALS

BRIGHTZ watches use one of the following three materials for their cases depending on models. Some models use these materials in combination for their cases.

[Stainless Steel]

- Stainless steel is resistant to rust and easy to put beautiful finishes such as mirror and honing finishes on it. It is, therefore, the material that is used most frequently for the cases.
- While iron is the main element of the stainless steel, it also contains chrome forming an extremely thin coating on its surface to prevent it from rusting.
- If the chrome coating deteriorates, even the stainless steel case will gather rust. To keep the coating intact, it is necessary to keep it in constant contact with oxygen. Soil sticking on the case surface will cause the deficiency of oxygen, and it is recommended that the case be always kept clean to preserve its quality.

[Genuine titanium]

- Titanium is a very light metal that has approximately half the specific gravity of stainless steel.
- It is rustproof and said to develop no allergy to metal.
- It is more flexible than stainless steel, and therefore, case should be taken not to scratch the case.

[Bright titanium]

- Bright titanium is a titanium alloy that is as light and rustproof as genuine titanium.
- It is proof against scratches, being 1.5 times as hard as genuine titanium and even harder than stainless steel.
- It is whiter in color than genuine titanium, making possible the mirror finish, which is difficult to achieve on genuine titanium.

● NON-REFLECTIVE COATINGS

- Your BRIGHTZ watch uses sapphire glass having special coating. They make reflections of light minimal and transmission high, thus enhancing the visibility of the dial and hands.

■ RESISTANCE TO MAGNETISM








- Your BRIGHTZ watch will not be affected by magnetism.
- The magnetic resistant quality of your watch meets the requirements of JIS Type-1 magnetic resistant watch, and your watch will not malfunction even in the magnetic field of direct current measuring 4,800 A/m. Such magnetic resistant models have on the case back "Ω" mark that only the watches conforming to JIS magnetic resistant watch standard are allowed to bear.

※While in everyday use, your BRIGHTZ watch remains intact in most cases if it is brought up to 5 cm close to an object generating magnetism. Care should be taken not to bring your watch closer to such object, as it may be affected by magnetism.

■ WATER RESISTANCE

- Your BRIGHTZ watch is water resistant (10 bar).

⚠ CAUTION

| Indication for water resistance Indication on the case back | Condition of use |   |   |  |  |  |
|--|----------------------------|---|---|---|---|---|
| | Degree of water resistance | Designed and manufactured to withstand accidental contact with water such as splashes and rain. | Suitable for swimming, yachting and other aquatic sports as well as for works closely associated with water such as kitchen work, watering and fishing. | Suitable for shallow diving without a heavy breathing apparatus and bathing. | Genuine diving using scuba. | Genuine diving using helium gas. |
| WATER RESISTANT 10 BAR | Water resistance (10 bar) | ○ | ○ | ○ | × | × |

※Do not turn or pull out the crown and press the button when the watch is wet, as water may get inside the watch.

● ABOUT BATHING

Your watch can be worn while bathing if it is equipped with water resistance over 10 bar. In that case, please note the following carefully.

- Please do not operate your watch (Crown operation, Button operation etc.) when it is wet with soap or shampoo. It sometimes causes a reduction in the water proofing.
- When the watch gets warm due to warm water, the watch could gain or lose time to some degree. However, the watch will return to its usual accuracy at normal temperatures.

WARNING

- If your watch is 10 bar water resistant, do not use it in saturation diving or scuba diving.

■ TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

CAUTION

● CARE OF YOUR WATCH

- The case and bracelet touch the skin directly just as underwear. If they are left dirty, the edge of a sleeve may be stained with rust of those who have a delicate skin may have a rash.
- After removing the watch from your wrist, wipe perspiration or moisture with a soft cloth. This will prevent the watch from being soiled, adding to the life of the gasket.

<LEATHER BAND>

- When removing moisture from a leather band, do not rub the band with the cloth as this may discolor it or reduce its gloss. Be sure to blot up the moisture using a soft dry cloth.

<METAL BRACELET>

- Clean the watch bracelet with a soft toothbrush dipped in water or soapy water.

 CAUTION

● RASH AND ALLERGY

- Adjust the bracelet or band so that there will be a little clearance between the bracelet or band and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If you are constitutionally predisposed to rash, the band may cause you to develop a rash or an itch depending on your physical condition.
- The possible causes of the rash are as follows:
 1. Allergy to metals or leathers
 2. Rust, dust or perspiration on the watch or band
- If you develop any skin reactions, take off the watch and consult a doctor immediately.

 CAUTION

● PRECAUTIONS ON WEARING YOUR WATCH

Take utmost care in the following cases:

- When clasping and unclasping the band, you may damage your nail, depending on the type of clasp used with the band.
- In case you tumble and fall or bump into others with the watch worn on your wrist, you may be injured by the reason of the fact that you wear the watch.
- When you make contact with children, especially with infants, they may get injured or develop a rash caused by allergy.

● PLACES TO KEEP YOUR WATCH

- Do not leave the watch in a place where it is subjected to strong magnetism or static electricity.
- Do not leave the watch where there is strong vibration.
- Do not leave the watch in a dusty place.
- Do not expose the watch to gases or chemicals.
(Ex.: Organic solvents such as benzine and thinner, gasoline, nail polish, cosmetic spray, detergent, adhesives, mercury, and iodine antiseptic solution.)
- Do not leave the watch in a hot spring, or do not keep it in a drawer having insecticides inside.

● PERIODIC CHECK

We recommend that your SEIKO Mechanical watch is checked once in 2 or 3 years. A periodic check will prevent any damage due to oil condition, entrance of moisture or perspiration, etc. and ensure longer use.

For checking, take your watch to the retailer from whom the watch was purchased. An overhaul may be required as a result of the checking.

- * When the watch is checked, have the gasket and push pin replaced with new ones.
- * When replacing parts with new ones, be sure to specify “ SEIKO genuine parts.”

■ TROUBLESHOOTING

| Trouble | Cause |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • The watch stops operating. | <ul style="list-style-type: none"> • The watch is not wound up. |
| <ul style="list-style-type: none"> • The watch gains/loses time. | <ul style="list-style-type: none"> • The watch has been left in extremely high or low temperatures for a long time. |
| | <ul style="list-style-type: none"> • The watch was brought into close contact with a magnetic object. |
| | <ul style="list-style-type: none"> • You dropped the watch, hit it against a hard surface or wore it while playing active sports. • The watch was exposed to strong vibrations. |
| <ul style="list-style-type: none"> • The glass is blurred and the blur persists for a long time. | <ul style="list-style-type: none"> • The crown was turned or pulled out when the watch was wet. |

* For the solution of troubles other than above, contact the retailer from whom the watch was purchased.

| Solution |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • Turn the crown to wind up the watch. The watch will start. If the watch does not start, contact the retailer from whom the watch was purchased. |
| <ul style="list-style-type: none"> • This condition will be corrected when the watch temperature returns to normal. |
| <ul style="list-style-type: none"> • This condition will be corrected when the watch is kept away from close contact with the magnetic source. • If this condition is not corrected by following the above procedure, <u>contact the retailer from whom the watch was purchased.</u> |
| <ul style="list-style-type: none"> • This condition will not be corrected. <u>Contact the retailer from whom the watch was purchased.</u> |
| <ul style="list-style-type: none"> • <u>Contact the retailer from whom the watch was purchased.</u> |

LUMIBRITE

[IF YOUR WATCH HAS LUMIBRITE]

LumiBrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and natural environment, containing no noxious materials such as radioactive substance.

LumiBrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark.

For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, LumiBrite can emit light for 5 to 8 hours. Please note, however, that, as LumiBrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

<Reference data on the luminance>

(A) Sunlight

[Fine weather]: 100,000 lux [Cloudy weather]: 10,000 lux

(B) Indoor (Window-side during daytime)

[Fine weather]: more than 3,000 lux [Cloudy weather]: 1,000 to 3,000 lux

[Rainy weather]: less than 1,000 lux

(C) Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light) [Distance to the watch: 1m]: 1,000 lux

[Distance to the watch: 3m]: 500 lux (average room luminance)

[Distance to the watch: 4m]: 250 lux

SPECIFICATIONS

| | |
|---------------------------------|--|
| | 4S27 |
| 1.Time indication | 6 hands (hour, minute, second, 24-hour Hand, Day Hand, Date Hand) |
| 2.Vibrations | 28,800/h |
| 3.Loss/gain (※) (daily rate) | Within +25 and -15 seconds |
| 4.Driving system | Self-winding type with manual winding mechanism |
| 5.Jewels | 28 jewels |
| 6.OTHERS | DIASHOCK (※) |

* The mechanism of mechanical watches is very precise and delicate. Time accuracy may change depending on which direction the watch faces. Therefore, any actual loss/gain may not fall within the range of time accuracy specified above, and depends on the conditions of use, such as the length of time during which the watch is worn on the wrist, temperature, life style (whether much arm movement is involved or not), whether the watch is wound up fully or not, etc.

* The specifications are subject to change without prior notice, for product improvement.

* Diashock is a device that protects the balance staff in the driving mechanism of mechanical watches against shocks and vibration.

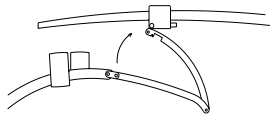
■ REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING

- If the watch requires service, take it to the retailer from whom the watch was purchased. If the trouble occurs within the guarantee period, submit the certificate of guarantee together with the watch.
- For repair after the guarantee period or for any other information regarding the watch, contact the retailer from whom the watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.
- Guarantee coverage is spelled out in the certificate of guarantee. Please read it carefully and keep the certificate for ready reference.

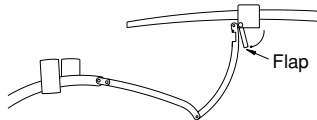
■ REMARKS ON REPLACEMENT PARTS

- SEIKO makes it policy to usually keep a stock of spare parts for its watches for 7 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally. (Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch.)
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the conditions under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands glass and bracelet, or parts thereof may be replaced with substitutes if the originals are not available.

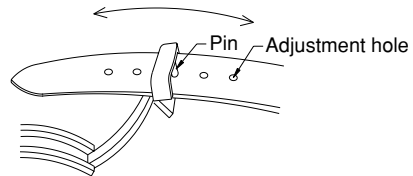
■ HOW TO ADJUST THE SIZE OF THE STRAP (FOR STRAP MODELS WITH BUCKLE)



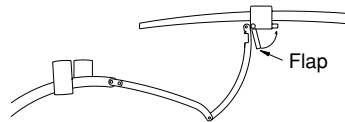
1. Lift up the clasp to release the buckle.



2. Open the flap.



3. Take the pin out of the adjustment hole, adjust the size of the strap by sliding it back and forth, and then put the pin back into the appropriate adjustment hole.



4. Close the flap.